

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年11月29日

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）												
計画の期間	令和06年度～令和07年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	十和田市												
計画の目標	内水浸水リスク情報を住民に的確に伝達し、適切な避難行動を促進するために必要なソフト対策を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	66	A	66	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	浸水想定区域の指定、内水ハザードマップの作成・公表により、浸水が想定される区域において、浸水区域及び避難場所の認知割合を0%（R06）から100%（R07）に向上させる。 浸水想定区域内の人が浸水想定区域及び避難場所を認知している割合 浸水想定区域及び避難場所の認知人口/浸水想定区域人口×100	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

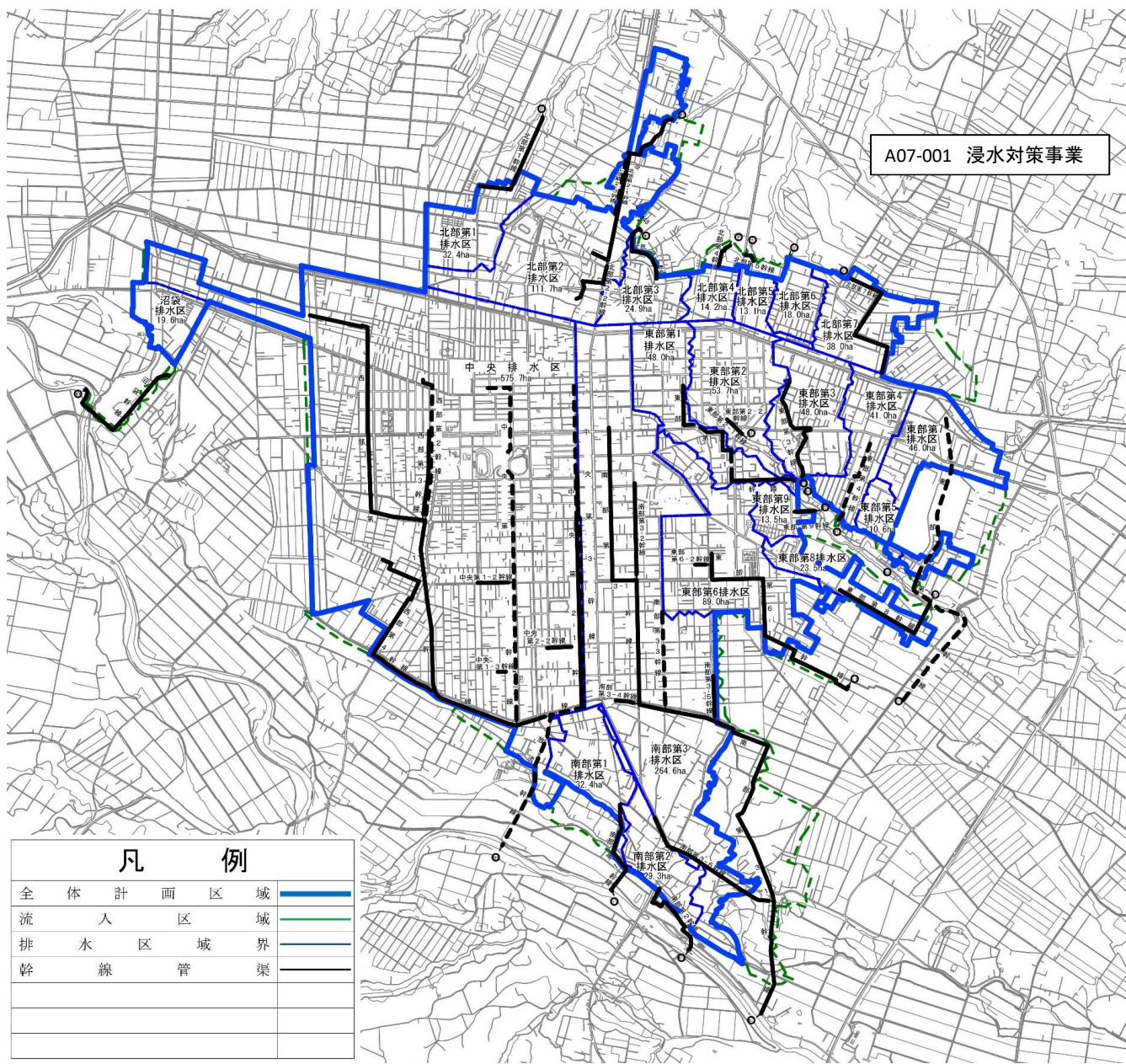
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	-	-	浸水対策事業	内水浸水想定区域図作成等	十和田市						66	-	
											小計						66		
											合計						66		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	15				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	15				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	15				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	支払い前のため				

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	令和06年度	～	令和07年度 (2年間)
	交付対象	十和田市	



十和田処理区

A07-001 浸水対策事業

凡 例	
全 体 計 画 区 域	
流 入 区 域	
排 水 区 域 界	
幹 線 管 渠	

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 十和田市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業遂行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 作成した内水ハザードマップ等を市民へ周知する。	○